

YMCA

2009. 7・8

Jul/Aug

No. 619

2009年度 年間聖句

「受けるよりは与える方が幸いである」
(新共同訳：使徒言行録 20章 35節)

大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。
- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭、地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人びとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み平和で公正な世界をめざします。

月刊 The YMCA 付録

編集・発行 / 日本YMCA同盟 東京都新宿区本塩町7番地

大阪青年 発行：末岡祥弘 編集：大阪YMCA広報室

〒550-0001 大阪市西区土佐堀1-5-6

TEL06-6441-0894 FAX06-6445-0297

URL: http://www.osakaymca.or.jp/

(年10回発行) 1947年10月27日 第3種郵便物認可

大阪青年



若者の居場所——ボランティア活動を通して

大阪大学大学院人間科学研究科教授

あつみ ともひで
渥美 公秀

自分がいることを受容してられる場、自分の悩みや考えを述べると真面目から議論してくれる場のことを居場所と呼んでおきましょう。最近では、自己決定や自己責任という言葉が溢れ、個人化・私事化が進んでいます。その結果、人と人との関係は希薄になって、居場所が見いだしにくくなっているように思えます。特に、仕事や家庭や地域での関係を築いていく途上にある若者にとっては、居場所を見つ

けるのが大変なように思えます。ボランティア活動は、居場所に出合う絶好の機会の一つだと思います。ボランティア活動をしていると、支援しているつもりが「助けられているのは私かも知れない」と関係が逆転しているように思えることがあります。また、活動現場で出会う実に多様な人々との間で、もつと別の関係があり得たかも知れないと省みることも多々あると思います。このようにボランティア



活動には、自分自身のあり方や自分と他の人との関係を見直す機会が多く、その結果、現状に満足するだけでなく「他にあり得たかも知れない」と考えることが増えると思えます。そして、もしそこに問題があれば、改善するために次々と新たなボランティア活動が生まれていきます。ただ、「他にあり得

活動現場で他の人との関係を見直す機会にも

たかもしれない」と感じて、「他の」関係や活動は無数にありますから、改善に役立つ活動をその中から的確に選んでうまく活動に活かすことができるのは限りません。そんな時、ボランティアたちは、どうすればいいのか、ああでもないこうでもないという姿をよく見かけます。その姿を見ていると、それぞれのボランティアにとって、そこが居場所になっているように思えます。

YMCAのボランティア活動は、居場所に出合える優れた機会の一つだと思えます。まず、グループとして活動を進めておられますから、同じ活動をしている仲間と相談する機会は多そうです。また、実に多様なメニューをお持ちですから、様々な現場に取り組んでいる人からヒントをもらう機会も多いのではないのでしょうか。そして、長い歴史と確固とした理念をもった団体ですから、思想に及ぶような深い議論も歓迎されると思えます。様々な人々と、様々な事柄を真正面から議論できる場、居場所がきつとあると思えます。

今後、より多くの若者が、ボランティア活動を通して、居場所を見いだして下さることを期待しています。

地の塩

▼平成18年6月2日に公布された公益法人制度改革関連法は昨年12月1日に施行されました。これにより現行の公益法人は、一旦自動的に「特例民法法人」となり、5年間の移行期間中に今後の進路を決定することになります▼大阪YMCAでは既に「新しい公益法人へ移行すること」を決定しており、今着々とその準備を進めています▼公益事業とは学術、技芸、慈善その他の公益性に関する事業で不特定多数の人の利益増進に寄与するもので、この事業が公益認定基準に適合すれば公益認定を受けることが出来ませんが、これは初回の認定時のみならず、その後毎年度事業終了後に提出する事業報告書や計算書類がこの基準を全部満たしていることが必要で、欠けておれば勧告を受け、最悪の場合は認定の取り消しを受けることでもあります▼大阪YMCA運動の基盤である「大阪YMCAの使命」と「大阪YMCAビジョン2010」を、より広く不特定多数の人々と推進し、各地域YMCAが地域社会にしっかりと根ざし、地域の青少年の健全な育成に寄与していくことこそが大阪YMCAの目指すところだと思います。今年の会員大会で常議員のキリスト者の数を「3分の2」から「過半数」に、また、地域YMCAの運営委員長を「キリスト者のうちから」を「原則としてキリスト者のうちから」に変更しました。この変更も公益法人に相応しい活動を推進していくためです▼大阪YMCAにとって「公益財団法人の認定」を受けることは今年度の大きな課題であり、YMCA運動の確立と今後の発展につながる大切な機会でもあります。(啓)



新任 西野陽一 (この よういち)

- 1 1977年 7月1日
3 元枚方・高槻 Y M C A 運営委員



横田憲子 (よした のりこ)

- 1 1994年 5月23日
3 東 Y M C A 運営委員



新任 丹吾 礼 (たんご あや)

- 1 1999年 4月1日
3 土佐堀 Y M C A 運営委員



南出和余 (みなみで かずよ)

- 1 1994年 6月1日
3 堺 Y M C A 運営委員



問 祐三 (はざま ゆうぞう)

- 1 1987年 4月1日
2 日本基督教団 池田五山教会
3 北 Y M C A 運営委員

新常議員の紹介

今年の会員大会で選出された大阪 Y M C A 常議員の方々をご紹介します。
1 入会年月日 2 所属教会
3 大阪 Y M C A での役割 (50音順)

問 祐三 (はざま ゆうぞう)

★表彰者

- 奉仕の書表彰
上野哲男 (上佐堀)
50年継続会員
25年継続会員
10年継続会員
巨 (徳島) 成瀬康夫 (土佐堀)
堀 (北) 三井誠正 (土佐堀)
三牧 勉 (茨木) 宮尾智美 (土佐堀)
山岡剛彦 (土佐堀)
和田早苗 (北)



2009年会員大会 報告
2009年度基本方針を承認
年間聖句・年間讃美歌も決まる

5月30日午後2時30分～4時、大阪YMCA会館において会員大会を開催し、115名の維持会員が集いました。田中眞一副総主事から「阿南海洋センター開設40周年の募金」「あわぎ保育園開設」「しろがね幼稚園教室増設」など2008年度の事業報告、創立125周年記念事業の継続事業の報告、会計報告がなされました。また、「International Camp Counselor Program in Osaka」「YMCA学院広域化」「若者のリーダーシップ開発」など2009年度の事業計画及び予算が報告されました。その後、末岡祥弘総主事から2009年度基本方針・年間聖句・年間讃美歌の説明があり、承認と確認がなされました。また、会則第12条2項の常議員に関する規定と会則第16条3項の運営委員長に関する規定の変更が承認されました。その後大会選出常議員の信任投票、会員表彰、新維持会員紹介等、会則に基づき議事が進められ、信任投票の結果発表が行われ閉会となりました。会員大会終了後、維持会員の懇親の時を持ち、和やかに会を締めくくりました。(内田弘志・統括本部スタッフ)

- 【基本方針】「新たなつながりをもち、人の輪をひろげよう」
【年間聖句】「受けるよりは与える方が幸いである」
【年間讃美歌】讃美歌 312番「いつくしみ深き」
【会則変更点】
・会則第12条2項
「～常議員総数の3分の2以上は、キリスト者でなければならない。」
⇒「常議員総数の過半数は、キリスト者でなければならない。」
・会則第16条3項
「～運営委員長を維持会員であるキリスト者のうちから選出する。」
⇒「運営委員長を維持会員の中から選出する。ただし、運営委員長は原則としてキリスト者でなければならない。」

表現・コミュニケーション学科
クラスボランティア

人と関わる力をつけていくことが目標

表現・コミュニケーション学科 (以下、表コミ) は、過去に不登校だった生徒をはじめ、自分のペースで学びたい生徒、人との関係を築くことを苦手とする生徒たちが人と関わる力を身につけていくことを目標とした学科です。クラスボランティアの活動は、授業中に指示や説明が理解できずに困っている生徒を横で支援することや、講師の補助をすること、教室に入れない生徒の話し相手、コミュニケーションの授業で生徒と一緒にグループ活動を行うことが主な活動です。



これまでに活動していたボランティアは、大学生や大学院生をはじめ、福祉活動に関心のある社会人など所属も年齢層も様々ですが、教職員とは異なる関係性の中で、ボランティアが来ることを楽しみにしている生徒もいます。
問合せ
大阪YMCA国際専門学校
表現・コミュニケーション学科
<西区土佐堀> ☎ 06-6441-1123

ボランティア・アラカルト

大阪YMCAは、様々な分野でのボランティア活動を展開しています。下記以外のボランティアについては以下のHPにてご確認ください。興味のある方は是非お問い合わせください。
http://www.osakaymca.or.jp/volunteer/index.html

WACHACHA-CLUB

留学生と共に

毎年4月と10月にWACHACHA-CLUB (以下WCC) 主催の日本語学校 (上町校) 「新入生歓迎パーティー」を開催しています。参加者は新入生・在校生・卒業生・一般と

様々で、青空の下、屋上でゲームをしたり焼き肉を食べたりして、楽しいひとときを過ごします。WCCでは「新入生歓迎パーティー」実施にあたり、校内を中心にボランティアを募っています。今回協力いただいた28名の内、16名は日本語学校の在校生で、8名は今年3月に卒業した卒業生。新入生を歓迎しようという先輩たちの気持ちは、十分に伝わったことと思います。WCCとしても、在校生や卒業生のボランティアは心強い限り、今後も一緒に交流の場の提供をしていければと思っています。



問合せ
大阪YMCA学院日本語
学科<天王寺区生玉寺町>
☎ 06-6779-8364

ボランティアチューター

留学生の家族として

大阪YMCA国際専門学校日本語学科には現在約120名の留学生が在籍しています。「日本語をもっと使いたい!」「会話力をもっとアップしたい!」そういう思いをもった多くの学生が、週1回ボランティアの方と1対1で日本語で会話をする「チューター制度」を利用しています。そんなチューターさんの気遣いや優しさに触れて、会話力だけでない学生たちの変化を見ることが出来ます。ある学生にチューター制度についての感想を聞いたところ、「チューターさんは日本の家族」と答えました。生まれ育った町から離れた場所で、人とのふれあひを通して、学生たちは着実に人との絆を育んでいます。



問合せ
大阪YMCA国際専門学校日本語学科<西区土佐堀> ☎ 06-6441-9068
大阪YMCA学院日本語学科<天王寺区生玉寺町> ☎ 06-6779-8364

エンジェルスイミング

子どもたちの居場所として

南YMCAでは、奉仕プログラムの一つとして、エンジェルスイミングを実施しています。エンジェルスイミングは、知的障がい児を対象にした水泳クラスで、月2回程度、日曜日の午前中に活動を行っています。



普段なかなか運動をする機会の少ない子どもたちに、年間を通して、水泳の活動をする中で、継続して身体を動かす楽しさを伝えたり、また、子どもたちの居場所の一つになればと願い、多くのボランティアリーダーたちと共に活動しています。現在クラスは3クラスあり、約30名の子どもたちが参加しています。基本的には、マンツーマン指導を主体としていますが、時にはグループ活動をする中で、たくさんの方と友達やリーダーと関わる機会を設けています。
問合せ 南YMCA<天王寺区南河堀町> ☎ 06-6779-8362

◆プログラム報告◆
大阪YMCA創立記念礼拝

大阪YMCA創立記念礼拝が会員大会と同日の5月30日に開催されました。当日は85名の方が出席され、歴史の重みを感じ、これからのYMCA運動にかかわってほしいと思いを強くしたとのこと。
今年の奨励は、日本基督教団梅花教会の難波信義牧師をお招きしました。大阪YMCA創設者の一人である澤山保羅について学び、「一人を惜しむ神」というテーマで聖書の言葉を読みだしました。
澤山保羅は、教会での伝道活動に身を捧げ、また当時学業への道が狭かった女性に対し、キリスト教精神の下に英語教育という斬新な方針でその道を開いていきました。イエス・キリストの生き方に習い、常に



時代の弱者の傍に寄り添う澤山保羅の姿勢は、現在の大阪YMCAの様々なプログラムの礎に受け継がれています。
難波牧師からは、「旧約聖書にあるヨナのように、選ばれた者だけが救われると考えるのではなく、等しく世界の人々が神様の福音を受け生きていける、そのような世界の実現を目指すことができない」とのメッセージをいただきました。
大阪YMCAには、その使命が今も引き継がれていることに喜びを持ち、創立の原点に立ち返り、絶えず祈りをもって、すべての人の手の奉仕によって、より前進していくものとあらためて確信をいたしました。(浜野昌保・統括本部スタッフ)

第13回らくらく車椅子登山

4月26日、例年になく天候不順な状況の中、生駒山のらくらく登山道で、多くのボランティアに支えられ、「らくらく車椅子登山」を実施することができました。
気温15℃・風速10~15mの悪コンディションのため、第1展望休憩所までは、登りでしたが、これ以上の登坂は無理との判断から、出発点のらくらくセンターハウスまで引き返すことにしました。過去に雨のため中間地点で折り返したことはありませんが、



出発してすぐの登山中止は初めての経験でした。予定通りの登山はできず、残念ではありましたが、豊かな自然に囲まれた暖かなハウス内で、車椅子の高齢者とボランティアと一緒に、お弁当に舌鼓をうち、レクリエーションなども楽しむことができました。外出機会に恵まれた高齢者にとっては、車椅子 (一部徒歩の方も含む) 参加者は25名 (サンホーム入居者6名、デイ利用者6名、地域の一般高齢者5名、障がい者グループ8名)、補助者は129名、総参加者は154名でした。補助者として河内ワイズメンズクラブをはじめ、ザ・ラブ・ツ・カールトン大阪のボランティア、公園内のパークレンジャー、東ユエルネスのメンバー家族など多くのボランティアのご協力がありました。(尾北 昇・サンホーム所長)

国際リレーエッセイ⑨
風の心、土の人
~インドネシアより~
山辺聡子さん



海外で食事をするとは楽しみでもあり、またたくまの発見をする機会でもある。インドネシアでは、会議の休憩時間に揚げ物や甘い物が飲み物と一緒に用意されることが多い。インドネシア語を習いに通った大学の課外授業の時さえ、バスに乗った途端に小さなスナックボックスが全員に配られ、ガタガタ道で左右に揺れながらも揚げ物を頬張っていた。何かをつまみながらおしゃべりをするのが好きなインドネシア人の人柄がしのばれる一場面ともいえる。

スは、愛飲者の多い飲み物の一つでもある。アボガドといふは日本ではサラダやお寿司の具としてまた、山葵醤油でそのまま食べられるが、インドネシアではジュースとして飲む。そしてこのジュースにはたっぷりのチョコレートソースのトッピングが欠かせない。一度、アボガドを絞ったものだけに挑戦してみたが、飲めなかった。なぜ、チョコレートソースを入れるようになったのかは定かではないが、この取り合わせは素晴らしいと思う。同じ食材でも気候風土や生活スタイルによって、全く違う使われ方をしているのだなと痛感させられた。初めは食事中に甘い飲み物なんてと、思っていたけれど、暑い中で辛いものを食べていると甘い飲み物のとりこになってしまった。

先入観を捨て、目の前の現実を素直に受け入れた上で、自分なりに咀嚼できれば、人生を豊かにしていくと思う。しかし刺激豊かな生活の合間に愛しく感じるの、昔から馴染んだ味だった。



◆筆者紹介◆
山辺聡子さん
大阪YMCA元職員。
昨年からインドネシアに滞在し、4月に帰国。

- 〈新維持会員〉
有田和子 (南) 石井邦也 (南)
磯野恵子 (北摂) 伊藤俊彦 (土佐堀) 上田乃生子 (南)
加賀屋信里 (北摂) 加藤さくら (北摂)
川北 宣 (川谷いずみ (南)
川端和歌子 (東) 神島由美子 (北摂) 小林直樹 (土佐堀)
坂口治男 (土佐堀) 鮫嶋知子 (土佐堀) 高岡 博 (南)
田宮芳光 (土佐堀) 中谷哲造 (南) 西岡千絵 (北摂)
西川 香 (土佐堀) 北正浩 (南) 古林弘子 (北摂)
前田一成 (かわにし) 松倉幸作 (南) 宮前 弦 (南)
和田菜理 (阿南)



プログラムのご案内は、大阪YMCAのHPでもご覧いただけます。

http://www.osakaymca.or.jp

大阪YMCA早天祈禱会

YMCAを愛する人々と一緒に祈る時(第3金曜日)を持っています。YMCAの様々な場所で活動されている方々にお話をいただき、人生の歩みを分かちあう恵みの時としています。

第195回 日時 7月17日(金) 7:30~8:30 証し 田宮芳光さん(統括本部スタッフ)

第196回 日時 8月21日(金) 7:30~8:30 証し 川岸清さん(高槻YMCA運営委員長)

場所 大阪YMCA会館 問合せ 大阪YMCA国際・社会奉仕室 TEL 06(6441)0894

憲法記念日大阪府知事表彰のご報告

学校法人理事・元財団法人理事長の西村耕氏が、2009年5月7日に「憲法記念日大阪府知事表彰」で長年に亘り青少年活動に尽力された功績で大阪府知事より表彰されました。

大阪YMCAユースリーダー安全基金ご協力をお願い

大阪YMCAでは、YMCA運動を支え発展させていく担い手であるユースボランティアリーダーの安全と研鑽のために、研修他に用いられる募金をお願いしています。ご協力をお願いいたします。

安全基金目標額 100万円 募金方法 一口 1,000円 募金期間 7月1日~8月31日 受付窓口 各YMCA 募金事務局 大阪YMCA統括本部 TEL 06(6441)0894

株式会社西島製作所/双葉電気通信株式会社/株式会社毎日広告社 (2009年5月31日現在)

継続賛助会員

- (土佐堀) 池田聡美(南) 有本弘子/石橋英樹/大東義史/川畑誠一郎/酒井彩/内藤梨沙/中井正(堺) 神保 恵(枚方) 上條絵里 (土佐堀) 石川 悟/梅谷明子/大西和夫/片岡三喜雄/川井良一/川口和子/川端美登里/河本武久/木津克見/越野滋明/後藤 清/小西由貴晴/坂田茂/佐川隆二/塩原満希子/神社洋一/末岡秀次/隅田 保/瀬戸孝太郎/武田安規/只野準一/田中稔二/田原久美子/津田 誠/西田孝和/長谷川幸子/平田一男/美里貴大/富士水英一/部坂仁士/前島正一/前田孝志/松原伸幸/水野善夫/坂田三/鈴木誠吉/山崎和彦(南) 浅野誠一/惠美奈博光/木村妙子/阪上 忍/鈴木川加奈恵(北) 井上 巖/川村勇二/久保秀美/木村容子/中本和子/森 泰/梁井 豊/川善博/安川廣子(堺) 今井利子/上村芳雄/木村昭子/中本和子/森 泰/梁井 豊/直嗣(高槻) 萩原義明(枚方) 出口 正/深井由紀(東) 足立 絢子/杉原知恵(北摂) 原初子(六甲) 芦田照子/藤 孝子(かわにし) 丸尾 寛(阿南) 松下 仁(茨木) 粕谷和彦 (2009年5月31日現在)

協力会員 新規会員

【国際専門学校】インターナショナルハイスクール

中学生のためのイングリッシュ・アカデミー・サマーこの夏、英語を使っていることにチャレンジしよう!中学生対象、夏のイングリッシュアカデミーを開催します。ネイティブスピーカーの先生たちと楽しく学んで生きた英語を身に付けるチャンス!レベル別のクラス編成で無理なく学べます。期間:8月5日(水)~9日(日)の5日間受講料:23,000円(各種割引あり) 【国際専門学校】インターナショナルハイスクール ☎06-6441-0848 ☒ihs777@osk-yymca-intl.ed.jp

【専】表現・コミュニケーション学科

表コミ卒業生向けのプログラムを開始!6月から「クローバークラブ」という取り組みを始めました。毎月1回土曜日にグループ活動しながら、おしゃべりをしたり、ものづくりなどの体験をするプログラムです。卒業生の居場所となり余暇活動の充実につながればと考えています。

【国際専門学校】高等課程表現・コミュニケーション学科 ☎06-6441-1123 ☒hyogen-com@osakaymca.or.jp

【国際専門学校】日本語学科

日本語ボランティア募集!~とって身近な国際交流を始めてみませんか~(①チューター)もっと日本語で話したい!そんな学生たちと日本語でお話をするボランティアです。(②ホームビジット)日本の家庭ってどんな感じ?日帰りで学生たちを招待していただけるホストファミリーを募集中です!

【国際専門学校】日本語学科(土佐堀校) ☎06-6441-9068 ☒tosabori-nihongo@osakaymca.or.jp

YMCA学院高等学校

いよいよレポート締切と夏のプログラムが始まります!7月9日は、レポート提出最終締切日。ペースの違う生徒たちもこの日は同じゴールに向かい頑張ります。その後は夏休みで、生徒さんが大きく成長する野外活動(阿南)、国際平和セミナー(広島YMCA)の専門科目の授業が行われます。

YMCA学院高等学校 ☎06-6779-5690 ☒ymcahs@osakaymca.or.jp

ランゲージセンター天王寺

英語で過ごす夏休み!7月20日からサマーキッズプログラムを開講します。Native講師と月~金までの5日間を過ごし、プールやクッキング、コンピューターのレッスンを通って楽しく英語を身に付けられます!(幼稚園年少~小学生対象) ランゲージセンター天王寺 ☎06-6779-8363 ☒tennouji-language@osakaymca.or.jp http://www.oysl.org

高槻・茨木YMCA

7月5日(日)と11日(土)に、第15回高槻・茨木YMCAサッカーカーニバルを開催します。両YMCAのグラウンド別チーム編成により対戦を行います。サッカーカーニバルは学期に1度を予定しており、11月と3月にも開催予定です。

高槻・茨木YMCA ☎072-682-1322 ☒takatsuki@osakaymca.or.jp

堺YMCA

堺市放課後ルーム 教育委員会からの委託事業として、堺市の7つの小学校で、4~6年生のための放課後プログラムを実施しています。YMCAのノウハウを生かし、宿題、クラフト、スポーツや様々な校外活動を通してひとり一人が安心して居場所としてだけでなく、主体的に関われる環境、関係づくりを心がけています。

堺YMCA ☎072-257-6764 ☒sakai@osakaymca.or.jp

YMCA桃の里

夏休みは、子どもたちが著しく成長する絶好の期間です。水泳・バスケットボール・体育教室等の成長のためのプログラムをご用意しています。まずは、短期間のコースでチャレンジしてみませんか!

YMCA桃の里 ☎06-6746-7398 ☒momonosato@osakaymca.or.jp

六甲山YMCA

「先生を泣かすキャンプの煙かな」(高齢者大学アクティブシニア講座作品)今夏も多くの子どもたちが、キャンプで成長します。六甲山のさわやかな風の中、子どもたちのにぎやかな笑い声が響きます。ご家族やお仲間と楽しいひと時をお過ごしに、是非お越しください。

六甲山YMCA ☎078-891-0050 ☒rokko@osakaymca.or.jp

徳島YMCA

保護者の皆様よりテントを寄贈していただきました。徳島YMCAサッカークラブの保護者の方々より、タープ型テント1張とウォータージャグを寄贈していただきました。これからの暑い季節に向けて熱中症予防や安全にプログラムを行うために使用させていただきます。感謝とともにご報告いたします。

徳島YMCA ☎088-626-0035 ☒tokushima@osakaymca.or.jp

みなとYMCAウエルネスセンター

講習会が充実!各種スポーツが体験できる!みなとYMCAの体育館で、夏を前にシェイプアップボディを目指そう。また、今話題のノルディックウォーキングや、ウォールクライミングの講習会も行います。初めての方も安心してご参加いただけます。

みなとYMCA ☎06-4395-1001 ☒minato@osakaymca.or.jp

服部緑地ユースホステル

癒しを求めて~緑地公園へ!ユースホステルのある服部緑地公園は季節ごとにさまざまな花が咲き、来る人の心を和ませてくれます。ちょっと疲れたかな?と思ったら、都会の中の自然へのんびり過ごして来ませんか?

服部緑地ユースホステル ☎06-6862-0600 ☒youthhostel@osakaymca.or.jp

堺市立日高少年自然の家

ファミリーアウトドアキャンプ村 堺市立日高少年自然の家では、7月4日~8月23日まで『ファミリーアウトドアキャンプ村』(堺市民対象)を開きます。キャンプ村利用者には、海の活動や野外炊飯などの活動も行えます。申し込みと詳細については、直接お問い合わせください。日高で自然を感じましょう。

堺市立日高少年自然の家(指定管理委託事業) ☎0738-64-2871 ☒hidaka@osakaymca.or.jp

堺市立青少年センター

魅力たっぷりの先生がいっぱい!参加者募集中!新しいプログラムも含め16のクラスが5月にスタートしました。日本語教授法習得教室、日本語教室、ストレッチバレエ、Hawaiian・Hulaなどバラエティーに富んだプログラムがあり、2歳から70歳の皆さんが参加されています。またHIPHOPクラスの先生もダンス歴45年のキャリアをもち、パワフルで参加者の信頼も厚く、元気をいただける先生です!個性あふれる先生方のもとで多くのプログラムが実施されています。 青少年センター ☎072-229-5120 ☒seishonen-senta@osakaymca.or.jp

サンホーム

「レインボークラブ」ボランティア募集!サンホーム・東YMCAでは「レインボークラブ」を開催いたします。このプログラムでは日頃外に出かける機会が少ない障がい者の方と一緒に出かけ、共に楽しみ・学ぶという外出支援をしております。今年は7月と9月に開催します。たぐいまボランティア募集中。興味のある方はお問い合わせください。 サンホーム ☎06-6787-3733 ☒sunhome@osakaymca.or.jp

松尾台・しろがね幼稚園

夏休み園庭開放!ちびっこ大集合!夏休みの期間中、幼稚園は未就園児・幼児対象に園庭を開放しています。緑の芝生の上で、水遊びがいっぱいできます。近隣のお子様はもちろん、是非この機会に幼稚園に遊びに来てください。YMCA松尾台、しろがね幼稚園では開園の日程が異なりますので、詳しくはそれぞれの幼稚園にお問い合わせください。 YMCA松尾台・しろがね幼稚園 松尾台 ☎072-766-3221 ☒matsuoai@osakaymca.or.jp しろがね ☎072-766-7011 ☒shirogane@osakaymca.or.jp

大阪YMCA青年もボランティア 大の青年もボランティア 大の青年もボランティア... 編集後記



あわぎ保育園 満開の花たち! 玄関を入ればプランターの花が今が盛りと咲いています。子どもたちは「花が咲いてる!」と花が集まったり、地面に這う「アリ」や「だんご虫」に関心が強くなかなか保育室までたどりつかない毎日です。花とは別に「プットマト」と「とうもろこし」が少しずつ大きくなってきています。 YMCAあわぎ保育園 ☎06-4390-4191 ☒awaza-hoikuen@osakaymca.or.jp

かわにしYMCA 未就園児対象のプレスクールでは、YMCA幼稚園との連携によって、それぞれの成長のスピードや個性を大切にに関わり、読書作文コースでは、自分の感じたことや思ったことを文章にすることで思いを共感するなど、健全な成長を願った活動を展開しています。 かわにし保育園・かわにしYMCA ☎072-758-4678 ☒kawanishi@osakaymca.or.jp